



# 仙台・宮城元気ニュース

令和5年度第6号(通算第85号)  
令和6年2月29日発行-隔月発行-  
【発行】宮城県仙台地方振興事務所

～仙台地域の明るく元気な情報を発信！～

農振

仙台ターミナルビル株式会社が第12回「富県宮城」グランプリで「みやぎの食」振興部門賞を受賞されました【農業振興部(仙台農業改良普及センター)】 . . . . . 2

地振

「株式会社みらいファームやまと」と「みやぎ寿司海道塩竈地域推進協議会」が「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰で大賞を受賞されました【地方振興部・農業振興部】 . . . . . 2

地振

「宮城のお宝企業発見！現役女子大生による宮城女子のための就活祭」を開催しました【地方振興部】 . . . . . 3

林振

一般社団法人吉田愛林公益会が林業経営に関し林野庁長官賞を受賞されました【林業振興部】 . . . . . 3

農振

高山真里子氏が農業・農村女性活躍表彰の最優秀賞を受賞されました【農業振興部(仙台農業改良普及センター)】 . . . . . 4

水漁

第76回奉獻乾海苔品評会が開催されました【水産漁港部】 . . . . . 4

地振

「仙台地域観光振興研修会～持続可能な観光地づくりについて～」を開催しました【地方振興部】 . . . . . 5

農整

亘理町立亘理小学校で「亘理用水学習会」が開催されました【農業農村整備部】 . . . . . 5

林振

「黒川・仙台冬のきのごキャンペーン」を開催しました【林業振興部】 . . . . . 6

農振

「亘理名取地区地域営農推進研修会」を開催しました【農業振興部(亘理農業改良普及センター)】 . . . . . 6

仙台地域のこの時期おすすめの食材  
セリ (名取市)



2月9日、宮城県庁で第12回「富県宮城グランプリ」表彰式が開催され、仙台ターミナルビル株式会社（仙台市）が「みやぎの食」振興部門賞を受賞されました。

仙台ターミナルビル株式会社では、ショッピングセンター事業、ホテル事業を手掛けながら、津波で被災した荒浜地区に「JRフルーツパーク仙台あらはま」を開業し、生産から販売、農業体験といった幅広いサービスを提供することで、周辺施設との差別化を図っています。

また、フルーツパークでは、約11ヘクタールの農園で、イチゴやブドウ、リンゴなど果物を150品種以上栽培し、スマート農機や全国的にも取組が少ないジョイント栽培の導入により、省力化と早期多収を実現したほか、その技術を農業者に発信する取組も行っていることなどが高く評価されました。



表彰式の様子

「株式会社みらいファームやまと」と「みやぎ寿司海道塩竈地域推進協議会」が「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰で大賞を受賞されました▶地方振興部・農業振興部

12 つくる責任 つかう責任

15 陸の豊かさも守ろう

14 海の豊かさも守ろう

「食材王国みやぎ」の重点テーマである“地産地消の推進”や“ブランドの確立”をさらに進めるため、先導的、模範的な活動を実践される方々の功績を称える「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰の表彰式が1月25日に行われ、管内の2社（団体）が地産地消部門で大賞を受賞し、池田副知事からお祝いの言葉と表彰盾が授与されました。

<活動紹介>

株式会社みやぎファームやまと（大和町）では、地域活性化を目的にワイン醸造に取り組んでおり、さらに地域食材を生かした料理とワインを楽しむレストラン、宿泊施設を開設し、地域に人を呼び込む施設として賑わいを創出しています。

みやぎ寿司海道塩竈地域推進協議会（塩竈市）では、日本有数の寿司屋の店舗数を誇る「寿司のまち塩竈」を全国へPRするために様々な事業に取り組み、また、近海の新鮮な海鮮や宮城米「ササニシキ」を使用することで地産地消の活動にも取り組んでいます。



表彰式の様子



了美ワイン&ダイニングで楽しめるワインと料理のマリアージュ



塩竈市内の加盟店10店舗で味わえる親方自慢の一品



# 「宮城のお宝企業発見！現役女子大生による宮城女子のための就活祭」を開催しました▶地方振興部



地方振興部は、2月4日に、大学生を対象としたイベントをCROSS B PLUS（仙台市青葉区）で開催しました。このイベントは、令和5年5月に発足した女子大学生で構成するプロジェクトチームが、大学を卒業する女性が卒業後も宮城県内で働き、住み続けたいくなるよう、宮城県の魅力を再認識するとともに就職活動の不安を払拭し、県内就職を促す目的で学生の視点から企画したものです。

第1部では、NHK仙台放送局、株式会社高速、株式会社藤崎の3社から、「宮城県で働くこと」や「女性が働くこと」を交えた企業説明があった後、プロジェクトチームの学生が、宮城県の魅力をプレゼンしました。第2部では、第1部の企業に加えて株式会社仙台銀行、仙台ターミナルビル株式会社、株式会社北洲が加わり、パネルトークと少人数に分かれての座談会を行いました。

約40人の学生が参加し、学生たちは各社の社員に、今の仕事に就いたきっかけや、宮城県で仕事・生活をしていてどう感じているか、女性という立場での将来設計をどのように考えているか等について訊いていました。学生からは、「宮城の魅力や宮城の会社について出会いがたくさんあってとても楽しかった」、「より視野が広がりワクワクした」等の感想がありました。

今後、参加企業3社の職場見学会も実施されます。



イベントの様子



イベント後の集合写真

# 一般社団法人吉田愛林公益会が林業経営に関し林野庁長官賞を受賞されました▶林業振興部



森林の適正な管理並びに林業の技術及び経営の改善に努めている経営体を顕彰する、公益財団法人大日本山林会主催の第62回全国林業経営推奨行事において、一般社団法人吉田愛林公益会（大和町）が林野庁長官賞を受賞されました。

吉田愛林公益会は、昭和35年に設立され、大和町吉田地区で直営林と分収林をあわせて約2,390ヘクタールの林業経営を行い、着実な林業経営姿勢が評価されています。

本行事はもので昭和37年度から行われており、11月2日に東京都で行われた賞状伝達贈呈式では、秋篠宮皇嗣殿下から同公益会会長の浅井茂氏が賞状を賜るとともに、殿下から受賞者お一人ずつに暖かいお言葉を賜りました。

吉田愛林公益会は林業経営以外にも様々な地域活動を通じて地域社会へ貢献しており、今後とも吉田地区活性化の中心的な存在として、益々の御活躍が期待されます。



植林して5年～10年ほどの若い林奥には七ツ森を望むことができます

宮城県では、農村漁村における男女共同参画の推進について意識啓発を図ることを目的として、「2024 農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会」を開催しています。

今年は、1月11日に夢メッセみやぎで実施され、農業・農村女性活躍表彰式において、仙台市若林区で野菜を生産している高山真里子氏が女性地域社会参画部門の最優秀賞を受賞しました。

高山氏は、平成17年度に「マリズファーム」を立ち上げ、約3ヘクタールの農地を活用して、一般的な野菜からハーブや西洋野菜に至るまで、少量多品種の野菜を生産しています。仙台市の女性農業グループ「なのはな工房」や「フェムリエ仙台」の代表として、女性農業者の活躍の場を広げるとともに、多くの農業研修生を受け入れ地域農業の担い手育成に貢献されてきました。令和2年度には宮城県指導農業士に就任し、模範となる農業者として、後進の育成にも取り組んでおられます。



高山氏（右から2番目）の受賞風景

## 第76回奉獻乾海苔品評会が開催されました ▶ 水産漁港部

1月6日に、鹽竈神社で「奉獻乾海苔品評会」の審査会が開催されました。この品評会は、乾海苔の品質と漁業者の生産意欲向上を目的に、昭和23年に第1回が開催されて以来、今回で76回目となります。

今シーズンの海苔は、採苗(さいびょう)は順調に行われましたが、海水温が例年に比べ3~4℃高くなり、漁場へ種網(たねあみ)を張り込む育苗(いくびょう)作業が例年より1週間以上遅い9月下旬から開始されました。10月中旬頃は、漁場の栄養塩が低めに推移したことから、生育不良や色落ちが見られましたが、その後は漁場環境が好転し、色・艶ともに優れた海苔が生産されています。

審査会には、県内の生産者から92点の出品があり、厳正な審査の結果、優賞にJFみやぎ七ヶ浜支所代ヶ崎浜地区の赤間竹晴氏、準優賞には同七ヶ浜支所東宮浜地区の我妻貞俊氏が選ばれました。表彰式は1月11日に鹽竈神社で行われ、両氏に表彰状が手渡されました。今回優賞・準優賞となった乾海苔は2月20日に皇室に献上されました。



審査の様子



(左) 優賞の赤間氏  
(右) 準優賞の我妻氏





地方振興部は、2月14日に、仙台圏域の魅力を発信し、県内外から観光客を誘引する取組を一層推進するため、仙台管内市町村や観光関係事業者を対象とした「仙台地域観光振興研修会～持続可能な観光地づくりについて～」を開催しました。

研修会は、株式会社リクルートじゃらんリサーチセンター森戸香奈子主席研究員から、アフターコロナに欠かせない観点である「持続可能な観光地づくり」について御講演をいただきました。

森戸主席研究員からは、持続可能な観光地の定義から、それを実現させるために必要な視点、地域住民の果たす役割の大きさや優良事例についての紹介がありました。

また、仙台国際空港株式会社の岡崎克彦顧問より、全国及び東北地方のインバウンド需要の現状について、東日本旅客鉄道株式会社東北本部の戸田憲介ユニットリーダーより、東北エリアへの交流人口拡大を通じた地域の活性化を目的とする「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」について情報提供いただきました。

研修会参加者からは、「宮城県の観光の現状を知ることができた」、「3名とも異なる視点から観光について御講演いただき、参考になった」等の感想が寄せられました。

地方振興部では引き続き、更なる観光需要の回復・創出に向け、管内市町村や観光関係事業者の皆様と連携し、観光振興施策を推進してまいります。



研修会の様子



森戸主席研究員による講演の様子

## 亘理町立亘理小学校で「亘理用水学習会」が開催されました

### ▶農業農村整備部



10月3日と11月17日に、亘理町立亘理小学校4年生を対象として、「亘理用水見学会・学習会」が開催されました。この学習会は、亘理土地改良区が、地域子どもたちに土地改良施設のもつ多面的機能や自然環境の現状を知ってもらおうと、平成20年から毎年開催しているものです。

10月は、亘理用水（岩地蔵幹線水路）沿いを歩き、水路やゲート等の土地改良施設を見学しながら、その役割を学びました。

11月には体育館で「亘理用水の歴史と農業の現状」、「水辺の生きものと水路の危険性」、「ポンプの仕組みと施設管理」、「昔の農業用道具」の4つのコーナーをまわりながら、亘理用水と農業の歴史や役割等についてさらに深く学びました。

参加した児童からは、「水路がとても深くておどろいた」、「田んぼに洪水を防ぐ役割があると知っておどろいた」等といった感想が寄せられ、とても有意義な学習会となりました。

農業農村整備部では、今後も農業や地域についての学びを深める活動支援を行っていきます。



見学の様子

きのこ需要が高まる冬に黒川・仙台地域で生産されたきのこを手にとってもらえるよう、令和5年12月1日から令和6年1月12日まで「黒川・仙台冬のきのこキャンペーン」を開催しました。このキャンペーンでは、対象商品に貼付されているシールを3枚以上集め、応募すると抽選で2,000円分のJA商品券が5名様に当たる企画を実施しました。

キャンペーン期間には、共通のシールが貼付されたきのこが直売施設やスーパー等に並ぶ様子を見かけた方も多いのではないのでしょうか。

2月1日に仙台地方振興事務所林業振興部長による厳正なる抽選を行い、応募総数75通の中から5名の当選者が決定しました。

御参加くださった皆様、誠にありがとうございました。林業振興部では、今後も地元産きのこの普及PRに努めてまいります。



抽選会の様子



菌床しいたけ

「巨理名取地区地域営農推進研修会」を開催しました

▶農業振興部（巨理農業改良普及センター）

1月12日に、管内の農業法人や個人農家を対象に、雇用・労務管理能力の向上を目的とした「巨理名取地区地域営農推進研修会」を開催しました。

すずき労務経営コンサルタンツ代表の鈴木大輔氏を講師に招き、「農業法人等の雇用・労務管理」をテーマに御講演をいただくとともに、参加した経営体それぞれの課題や疑問について意見交換を行うグループワークを実施しました。

講演では、従業員を確保するためのポイント、後継候補者の受入・育成について、関連法令に基づく適切な運用方法や様々な取組事例等の説明があり、参加者は熱心に聴講していました。

また、グループワークは、各参加者が現在の課題を付箋に書いてホワイトボードに貼り、「従業員の勤務時間の管理」や「定年制の必要性」等の課題が参加者間で共有され、それに対する対応策や意見を出し合いながら進められ、最後に鈴木先生から助言をいただきました。

研修会参加者からは、「同じような悩みを持っていることがわかった」、「工夫されている内容がよくわかった」等の声が聞かれました。

普及センターでは、管内の農業経営体の発展のために今後も支援を行っていきます。



講演の様子



グループワークの様子